



アザミズン

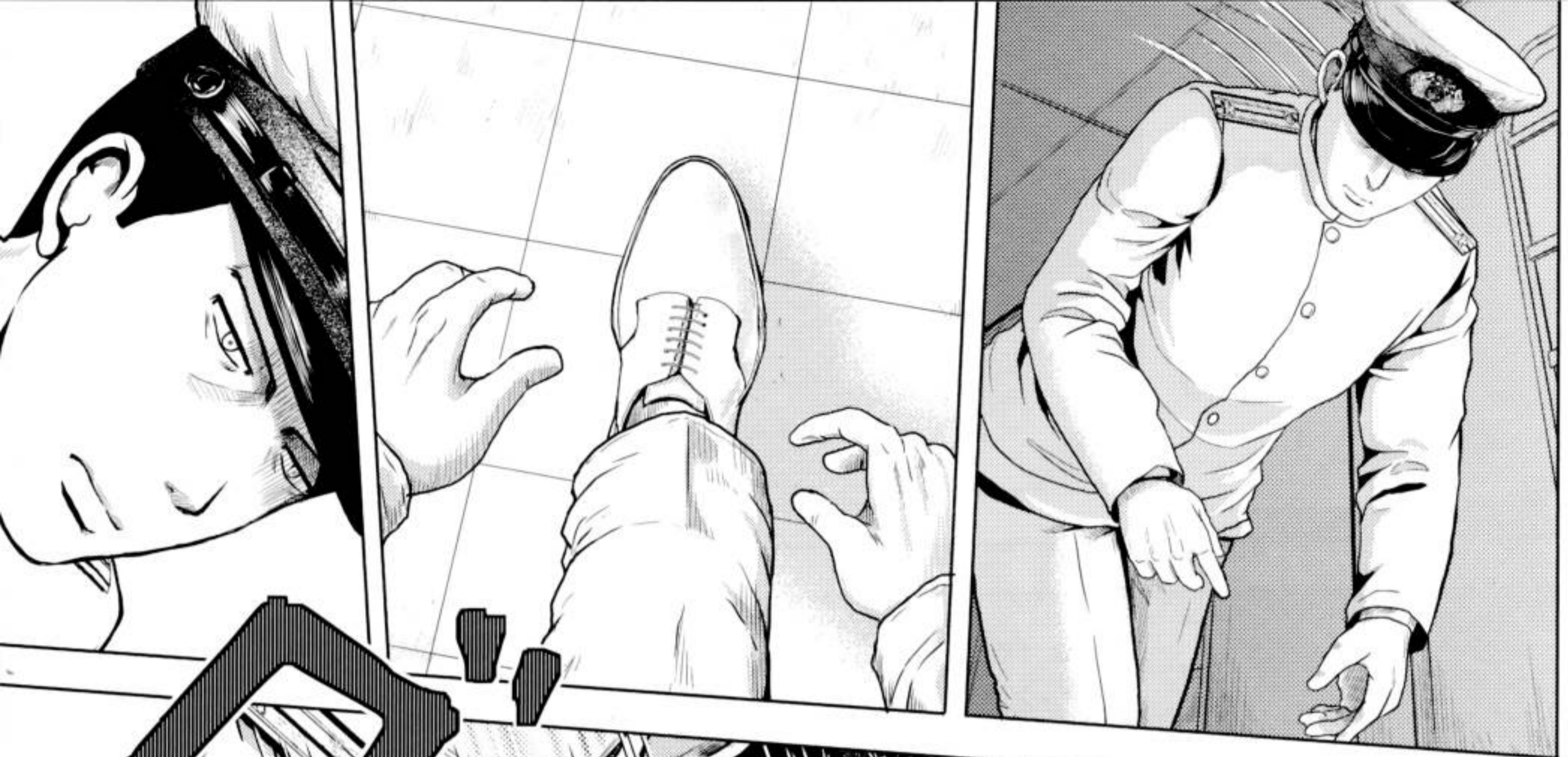
ア



提督

そうか

靴ひもが  
ほどけています



あれはそう…

確か

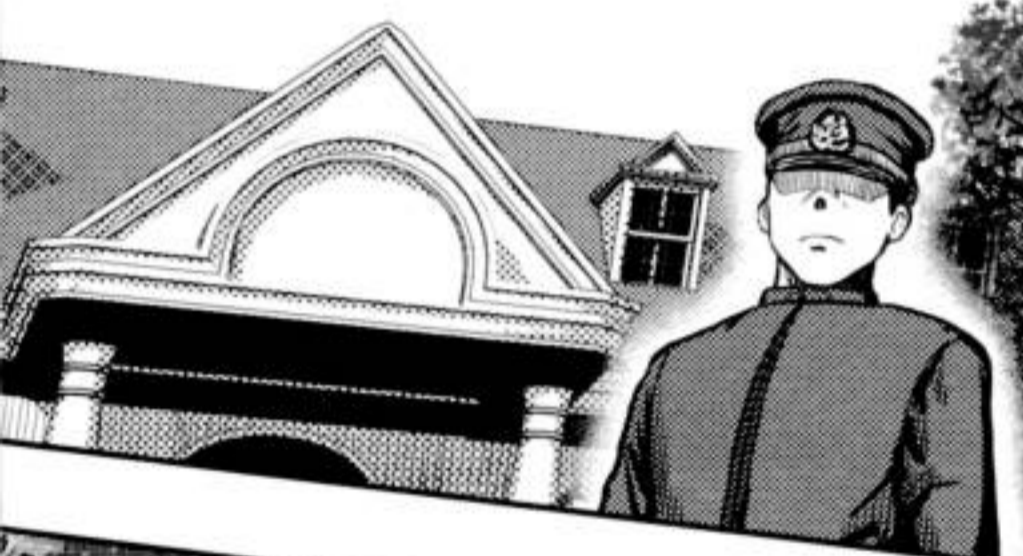
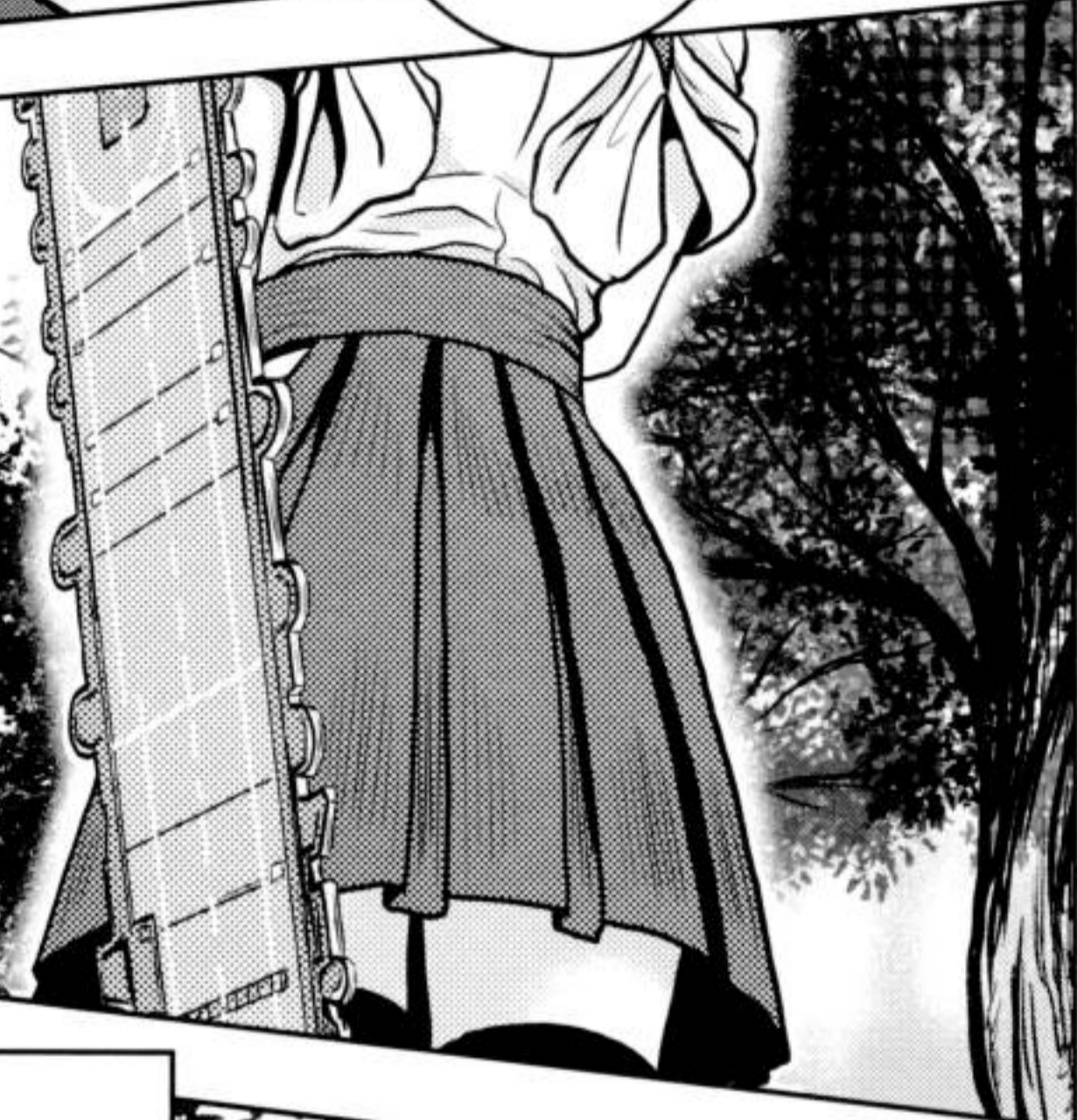
私が初めて  
鎮守府に  
やってきた日…





鎮守府へ  
ようこそ


私を出迎えて  
くれたのは




航空母艦 加賀

私が初めて会う  
艦だった






あなたが私の提督？  
それなりに  
期待しているわ



俺に期待なんか  
してねえで  
めえが頑張れ





思えばあの一言が  
私と加賀の長きに渡る闘いの  
始まりであったと思っ

でもね俺も緊張してたのよ  
どう接するのがベストか  
わからなかったのよ

だからまあ少しばかり  
きつい言葉をかけて  
しまった訳で



まあ今更言っても  
しようがないね俺が悪いね

というか俺はなんで  
加賀を秘書艦にしてるんだよ

そうだ赤城だ  
赤城を秘書艦にしよう  
あいつならしつかりしてるし

赤城による  
提督暗殺未遂事件  
前日の出来事であった









深夜  
誰もいない食堂で  
カップ麺の完成を待つ

慎ましく寂しい  
提督の夕食である



空腹でなかなか  
寝付けない

空母赤城が  
現れた



そこへ

ピョ



くっ  
俺と  
執務  
室に  
刀を  
置い  
てき  
ちま  
った  
……  
どう  
する  
……  
!



ふたりっきり……  
です……



なあ  
赤城よ…

艦隊司令という  
立場上、俺は  
厳しくお前らに  
接しなくてはならん

それ故

艦との間に  
溝が出来ていると  
最近思う



それが悪いとは  
思わないし

やり方を  
変える  
つもりもない

しかし虚しさを  
感じる時  
もある

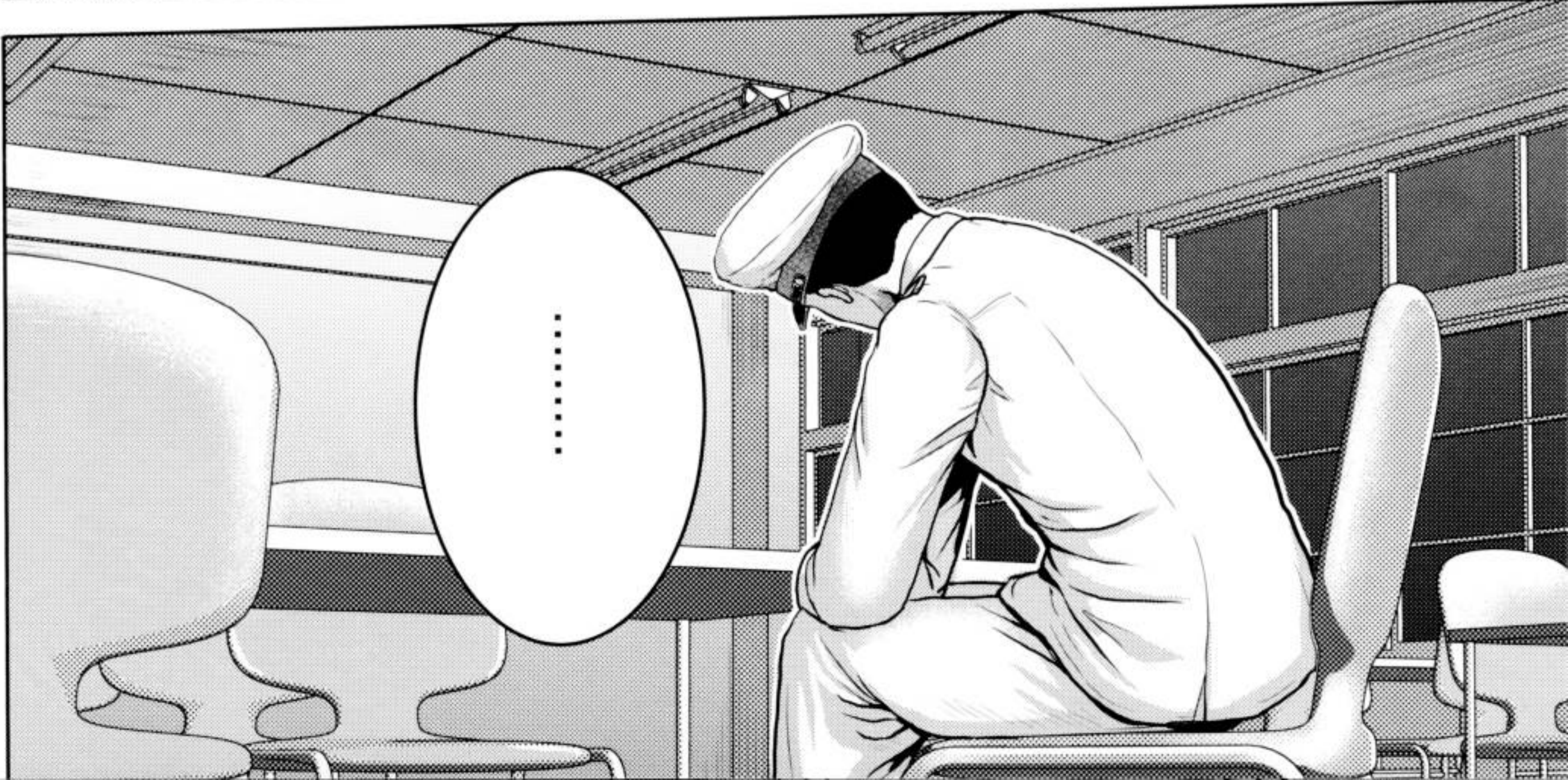


そんな中  
お前だけだ

俺に真正面から  
ぶつかってきて  
くれるのは

赤城…  
照れくさいが  
言わせてくれ





そこへ

よし！  
このまま  
夜の街に  
繰り出すぞ

!!

空腹で寝付け  
ない  
空母加賀が現  
れたい

何っ!!

うおおおおお

ガッ  
ャア



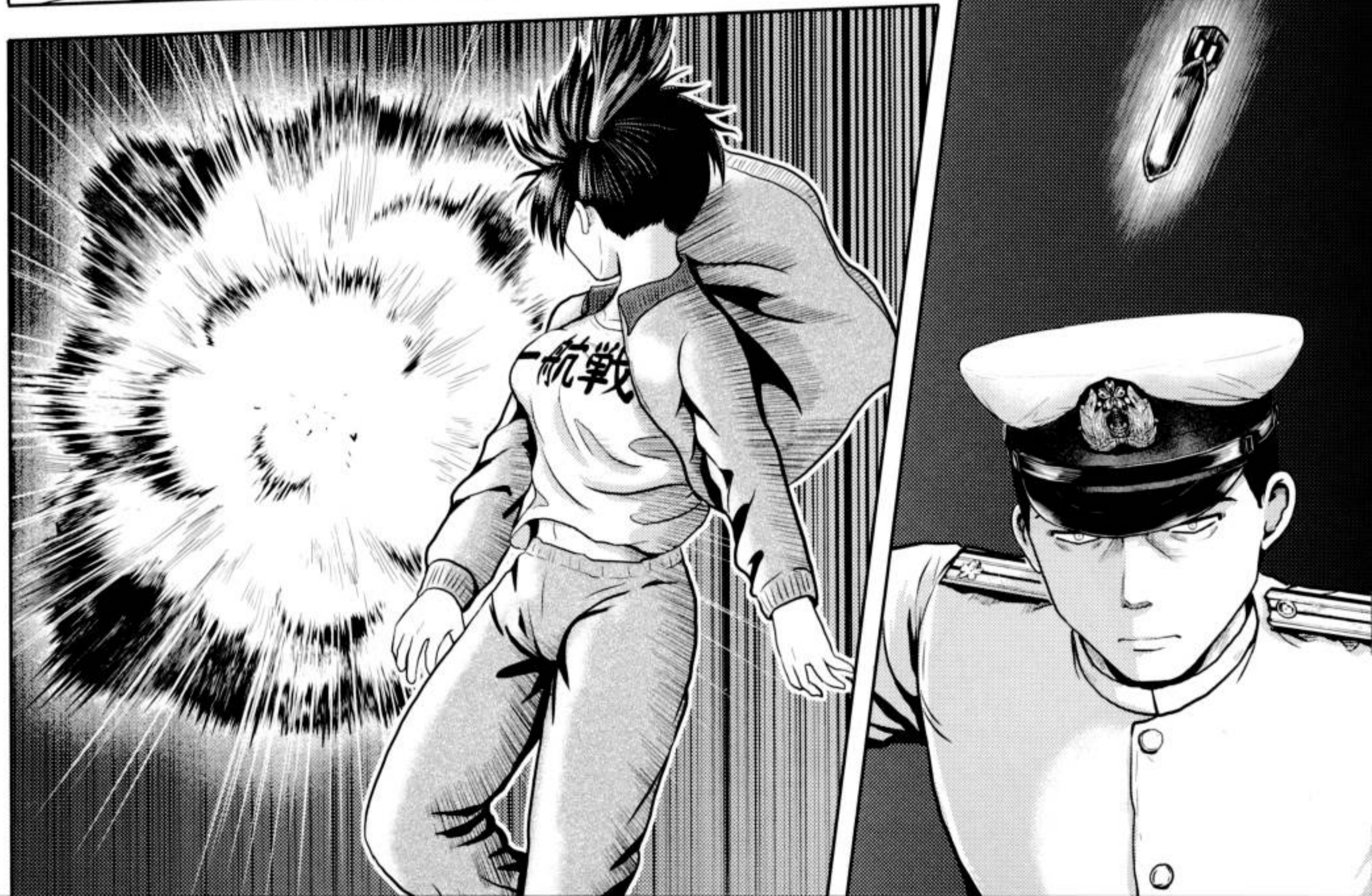
空中戦なら  
人間の俺に  
分があるぞ!!!

うかつだったな  
加賀!  
貴様らは海上戦では  
無敵かも知れんが

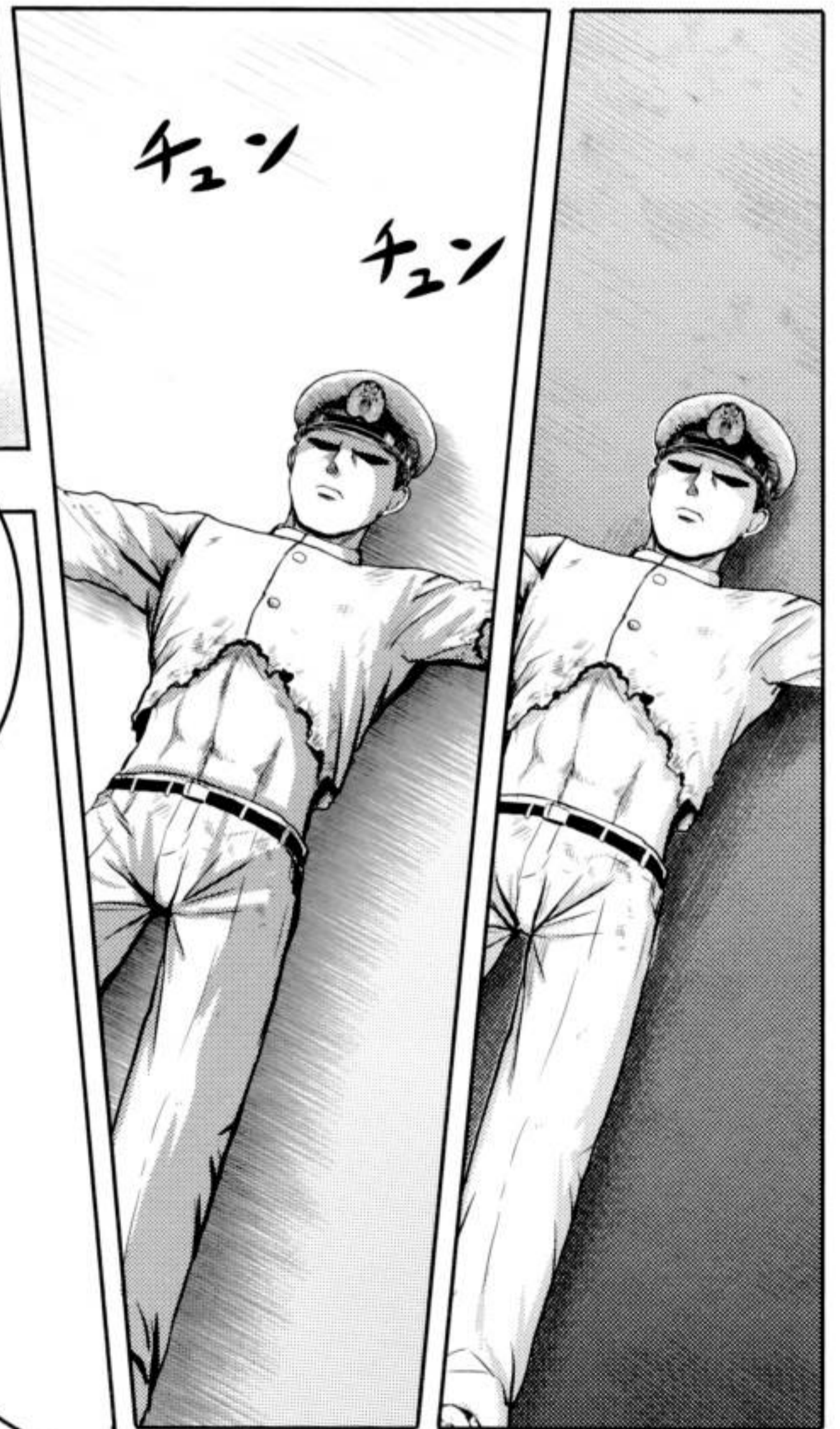


空母だもんな

そっかー








さあて  
今日も頑張るか...

.....



母港にて盛大な  
クリスマスパーティーが  
催されている頃

たったひとり  
哨戒や遠征任務を  
こなす提督であつた

あとがき

アメリカ  
モハビウエイストランド

略奪の為  
運び屋の若者に  
襲い掛かり  
返り討ちにあつた  
天龍と木曾は  
以後この青年を  
提督と呼び  
付き従う事により  
精神の平衡を  
保つのであつた



アドミラル・エレジー

ハイパーサマーウォーズ

二〇一五年十二月三十日

